

トラック協会杯第38回全道少年団（U-11）サッカー大会苫小牧地区予選要項（案）

1. 主 旨 少年サッカーレベル向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な少年を育成する。
2. 主 催 苫小牧地区サッカー協会、室蘭地区トラック協会
3. 主 管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
4. 後 援 苫小牧市教育委員会
5. 協 賛 室蘭地区トラック協会
6. 期 日 9月12日（土）、13日（日）
7. 会 場 TOMASEI フットボールフィールド
8. 参加資格

- ①「参加チーム」は今年度に（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
- ②「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、（公財）日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
- ③同一参加選手が異なる加盟チームの移籍後、再び参加することはできない。
- ④第4種年代の女子選手については（「クラブ申請」を承認された）同一「クラブ」内のチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、前項③は適用される。
- ⑤引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が本協会公認コーチ資格（D級以上）を有すること。
- ⑥「参加チーム」は必ず「傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険）等」に加入していること。
- ⑦参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得た者でなければならない。
- ⑧対象学年は5年生以下。

9. 競技規則

- ①（公財）日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
- ②本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。その際は0-5の不戦敗とする。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。

10. 競技方法

- （1）競技方法は次のとおりとする。
- ①参加17チームを分けて予選を行う。
- ②各ブロック1位・2位チームが決勝トーナメントに進む。
- ③予選リーグにおける順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - 【1】得失点差
 - 【2】総得点
 - 【3】当該チームの対戦結果
 - 【4】【1】～【3】の全項目において同一の場合は、PK方式（3人）にて勝者を決定する。
- ④ワイルドカードの進出チーム決定方法は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - 【1】全試合の勝点
 - 【2】全試合の得失点差（総得点－総失点）
 - 【3】全試合の総得点
 - 【4】【1】～【3】の全項目において同一の場合は、PK方式（3人）にて勝者を決定する。
- （2）競技のフィールドの大きさは下表のとおりとし、ゴールは少年用（5m×2.15m）とする。
- （3）試合球は公認球（少年用4号球）を使用する。
- （4）競技者の数および交代
 - ・1チーム8人の競技者によって行われる。チーム競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
 - ・登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となって再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
 - ・ゴールキーパーは、事前に審判に通知した上で、試合の停止中に入れ替わる事ができる。
- （5）競技者の用具
 - ・競技者の用具については、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」および「ユニフォーム規定」に従うものとする。
 - ・選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。

- ・ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。

(6) テクニカルエリア

- ・テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
- ・その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

(7) 審判員

- ・予選リーグは2人制審判(主審・補助審)、決勝トーナメントは4人制審判で行う。

(8) 試合時間

- ・試合時間は前、後半とも15分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は3分とする。
- ・規定の時間内に勝敗が決しない場合は、予選リーグでは引き分けとする。各順位トーナメントでは、同点の場合はいわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、準決勝においては、前、後半5分ずつの延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合にはPK方式(3人)にて勝者となるチームを決定する。

11. 懲罰

(1) 本大会に大会規律委員会を設ける。

- (2) 大会規律委員会の委員長は、苫小牧地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については、委員長が決定する。

- (3) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。

- (4) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、自動的に次の1試合に出場できず、それ

以降の措置については規律委員会において決定する。

競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

- (5) 本大会諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

12. 組 合 せ フリー抽選により決定する。

13. 帯同審判

参加チームは公認審判員を1名以上帯同すること。(2名が望ましい)ベンチ入り指導者が審判員を兼ねる場合は審判を優先しなければならない。

14. 選手証

「参加選手」は(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。ただし、電子登録証が確認できる場合は出場を認めるものとする。

15. 開 会 式

開会式はおこなわない。

16. 閉 会 式

2日目ベスト4のチームで実施する。

17. その他

- ①選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。
- ②選手の保護者・関係者のマナー遵守(路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ)については、チーム責任とする。
- ③帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
- ④荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には4種委員長・事業委員会・事務局において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- ⑤苫小牧地区の代表枠は2とし、代表チームには全道大会への参加を義務づける。
- ⑥本大会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営

⑧本大会の結果をポイント加算し来年度のU12リーグ戦および全農杯予選の組合せに反映させる

